

EV to EV concept

電気自動車に積載可能な急速充電器 EVEX 2014 で実演展示 商用 EV(e-NV200)で次世代電欠レスキューが本格始動 ～電欠不安をなくして電気自動車の普及に貢献～

株式会社マイダス・ラボ(本社:東京都新宿区 代表取締役:河島真治)は、2014年9月17日～19日に東京ビッグサイトで開催される「電気自動車開発技術展 (EVEX) 2014」において、10月に発売予定の日産の商用 EV e-NV200 とリーフの2台を展示し、Andromeda Power LLC (Costa Mesa, CA, 92627, USA)の車載型急速充電器 ORCA Inceptive の実演を致します。

EV to EV concept

株式会社マイダス・ラボ <http://www.midas.co.jp/>
 Andromeda Power LLC <http://www.andromedapower.com/>
 「電気自動車開発技術展 (EVEX) 2014」 <http://www.evex.jp/>



【概要】～最もシンプルな電欠レスキュー～

電欠時の不安や煩わしさの解消を担う「迅速な電欠レスキュー」はEVの普及促進にとって、必要不可欠なソリューションです。EV to EV concept は、レスキュー車の走行用バッテリーをレスキュー給電にそのまま活用する事で、従来の大がかりな電欠レスキュー車に比較し、圧倒的にシンプルで実現性に優れたソリューションです。マイダス・ラボは、この最もシンプルな電欠レスキューの導入支援を通じ、電気自動車の普及に貢献致します。

■EV to EV conceptについて

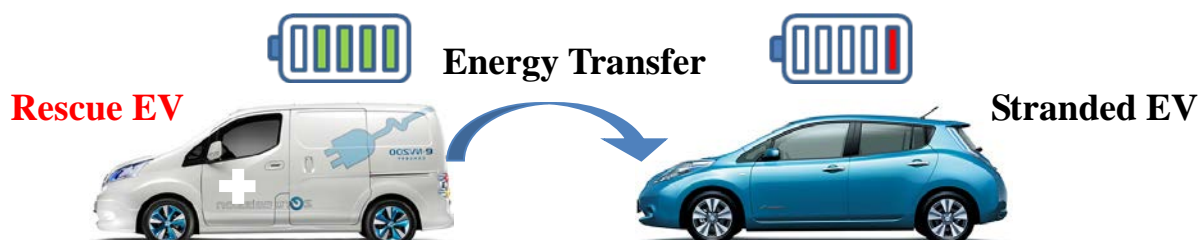
<http://www.midas.co.jp/ev/evtoevconcept.pdf>

【電欠レスキューの現状】～EV to EV concept の必要性～

ガソリン車に比べ、1回の充電で走行できる距離が少ない電気自動車への電欠の不安は根強いものがあり、それが電気自動車の普及を阻む一つの要因となっています。この不安を払しょくすることが電気自動車の普及に繋がります。その対策は、充電に困らない充電インフラの整備(充電器の設置を増やすこと)と電欠しても安心な環境を作ることです。EV to EV Concept は、この後者にあたる電欠しても安心という側からのアプローチを提案するものです。ガソリン車のガス欠であれば、その場でガソリンの補給が受けられますが、現在、電気自動車が電欠した場合、レッカー移動に頼るしかありません。EV to EV の充電器を搭載した電欠レスキュー車の普及により、ガソリン車と同じように、電欠してもその場で電力の補充が受けられることが可能になります。

【製品の特徴】～低コストに電欠レスキュー車の導入を可能にします～

ORCA Inceptive は、日産リーフのトランクに搭載できる CHAdeMO 仕様の小型で高出力(最大出力 50kW)な急速充電器です。電欠車両に対し、6～10分で5kWhの電力を急速充電可能で、これにより電欠した車両は30km～40kmの走行が可能になります。給電用のエネルギーにはレスキュー車自身の走行用バッテリー(日産リーフ/e-NV200の場合24kWh)を使用することで、レスキュー車へ発電機や追加バッテリーの搭載が不要なため、低コストに電欠レスキュー車の導入が可能です。



【製品の写真】



【イベント概要】

名称：EVEX(EV・PHV 普及活用技術展)2014

会場：東京ビッグサイト 東 2・3 ホール

会期：2014年9月17日(水)～19日(金) 10:00～17:00

料金：2,000円(税込)

※招待券持参者・展示会公式 Web サイトからの事前登録者は無料

URL：<http://www.evex.jp/>

【会社概要】

商号：株式会社マイダス・ラボ

代表者：代表取締役 河島真治

所在地：〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-3-8 MHビル

設立：1991年10月

事業内容：マイクロコンピュータ開発支援事業、EV 支援事業

資本金：1,000万円

URL：<http://www.midas.co.jp/>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マイダス・ラボ

EV 支援事業部

Tel:03-3357-2589

E-Mail:info@midas.co.jp